



三菱 IH クッキングヒーター (家庭用)

据付説明書

形名

- ☐ CS-PT34HNSR
- ☐ CS-T34HNSR
- ☐ CS-T34VNSR
- ☐ CS-T34VS

- ☐ CS-PT34HNWSR
- ☐ CS-T34HNWSR
- ☐ CS-T34VNWSR
- ☐ CS-T34VWS

据付けされる方へのお願い

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この説明書を必ずお読みください。
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓等）を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。
- レンジフード（換気扇）を連動させる場合は、必ず指定の赤外線式レンジフード連動システム対応のレンジフードを取り付けてください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 据付け完了後に試運転を行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。

販売店・据付業者様用

1 据付け前に

- 1-1. 安全のために必ずお守りください... 2
- 1-2. 使用部品
(同梱品・別売部品) 3
- 1-3. 使用箇所 3
- 1-4. 外形寸法図 4
- 1-5. 設置場所の選定 5
- 1-6. 設置制約 6

据付け前に

2 電気工事

- 2-1. 専用回路と漏電しゃ断器の設置 7
- 2-2. コンセントの設置 7

電気工事

3 据付け

- 3-1. 本体の据付け 8
- 3-2. 付属部品の取り付け 9
- 3-3. 本体とキッチンの固定 11
- 3-4. 同梱品の取り付け 11
- 3-5. 据付け後の確認 12

据付け

4 試運転

- 4-1. 試運転手順 12
- 4-2. レンジフード（換気扇）の連動設定手順... 14
- 4-3. 総消費電力の切り替え手順 15
- 4-4. お客様への説明 15

試運転

- この説明書では、イラストを簡略化しておりますので製品と一部異なります。

1 据付け前に

1 - 1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を
次の表示で区分して説明しています。

■図記号の意味は次のとおりです。

 警告	死亡や重傷などに結びつく可能性 があるもの	 禁 止	 接触禁止	 アース線接続
 注意	軽傷または家屋・家財などの損害 に結びつくもの	 分解禁止	 指示に従う	

警告

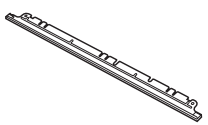
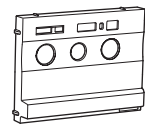
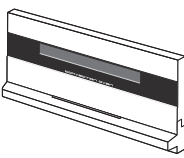
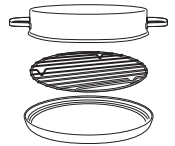
 絶対に分解・改造は行わない 発火・異常動作してけがをするおそれがあり ※トッププレートを取り外さない ※電源コードの直付けはしない 分解禁止	 据付けは、販売店または専門の工事店が実施する 指示に従う 間違った据付けは、事故の原因になります。 お客様ご自身での据付けは、事故の原因になります。
 トッププレートに衝撃を加えない 万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の 原因 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない 禁止	 据付け部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する 指示に従う 当社指定部品を使用しないと、事故の原因になります。
 200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する 指示に従う この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれ あり	 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回線を使用する 指示に従う 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因
 据付けは、この「据付説明書」に従って、確実に行う 指示に従う 据付けに不備があると、漏電・火災の原因	 アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士がD種接地工事を行う アース線接続 漏電時に感電のおそれがあり

注意

 試運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れない やけどのおそれがあり 接触禁止	
 ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う 指示に従う 熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上のもの 耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因 ※ニス引きのものは変色するため、使わない	

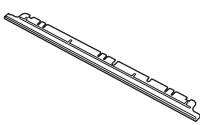
1 - 2. 使用部品(同梱品・別売部品)

■同梱品

① 上ルーバー	② 左サイドカバー	③ 右サイドカバー
1個 	1個 	1個 
④ グリル扉	⑤ グリルあみ (オープンネット) 受け皿(オープントレイ)	⑥ 排気カバー
1個 	各1個  グリルあみ 受け皿 グリル内にあります	1セット(2個) 
⑦ 当社専用天ぷら鍋	⑧ 専用グリルディッシュ	⑨ 説明書
1個 	各1個 	取扱説明書 ... 1部 据付説明書 ... 本書 保証書 1部

※ 下記の機種は、グリルディッシュが同梱されておりません。
CS-T34VS・CS-T34VWS

■別売部品(据付け高さにより、キャビネットとの間に隙間ができる場合に必要です)

⑩ 隙間かくし上ルーバー	⑪ 隙間かくし下ルーバー
1個 	1個 

隙間かくし上ルーバー

品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ 単位:mm (※1 キャビネットの隙間)
CS-ZTM10	シルバー	43×595×16(21)

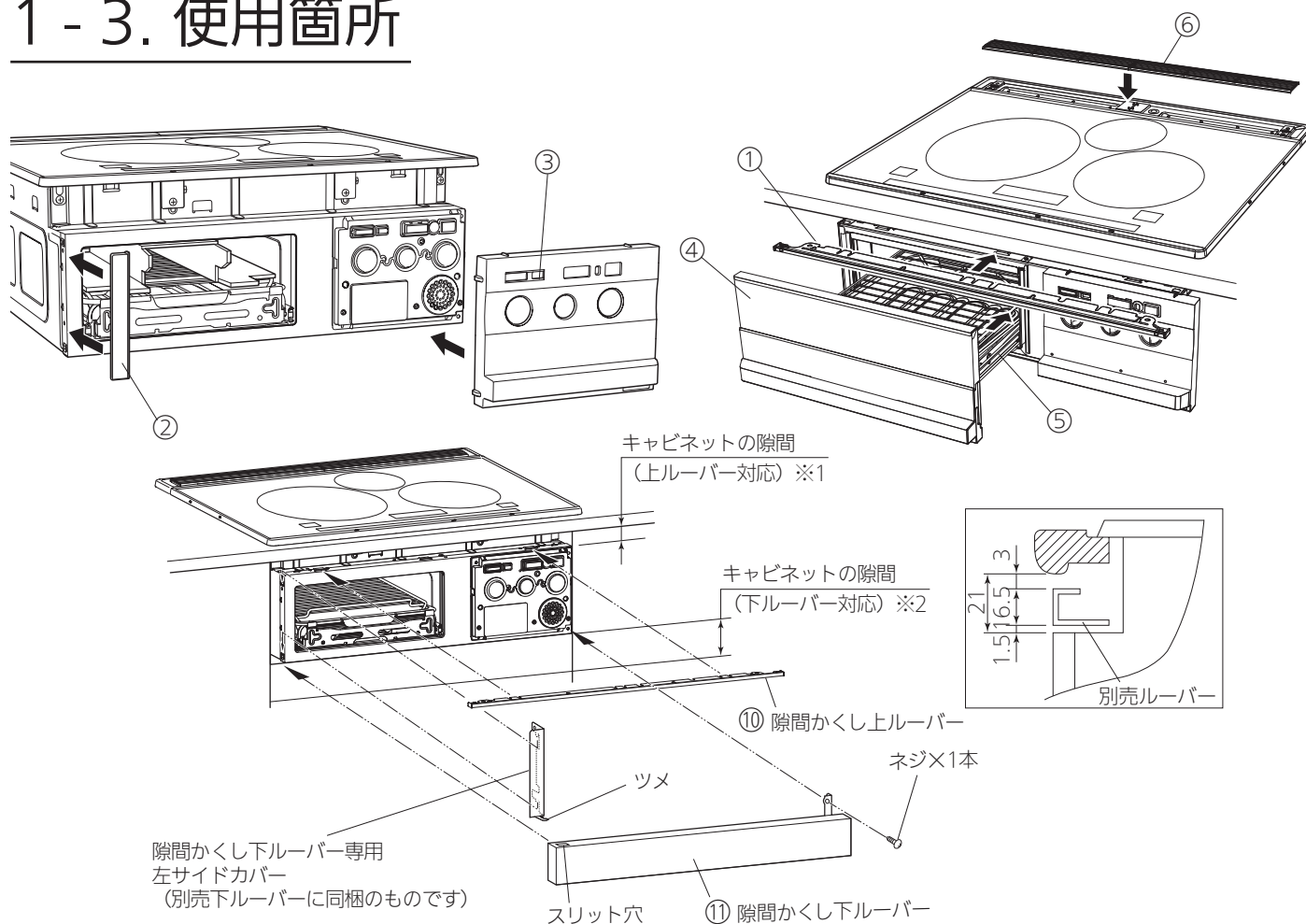
隙間かくし下ルーバー

品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ 単位:mm (※2 キャビネットの隙間)
CS-ZUP9	シルバー	25×597×5(9)
CS-ZUP25	シルバー	25×597×20.5(25)
CS-ZUP50	シルバー	25×597×45.5(50)

本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

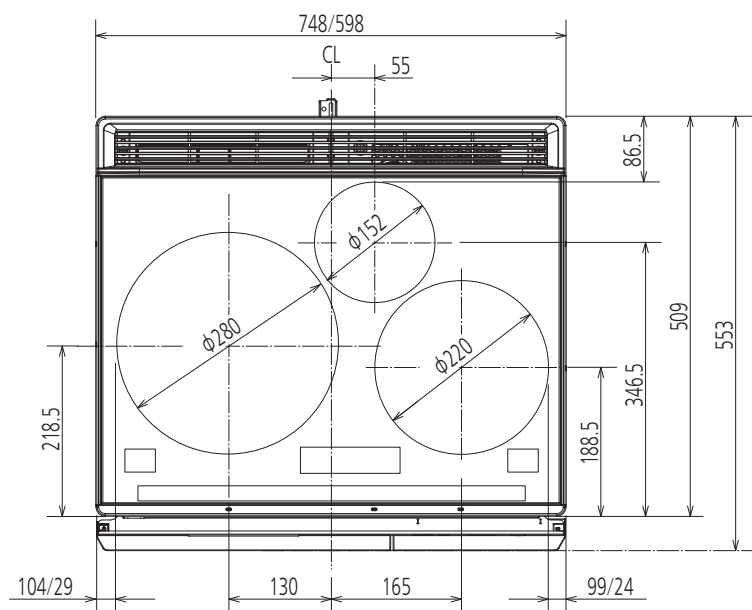
※ 詳細は各別売部品添付の取付要領図をご覧ください。

1 - 3. 使用箇所

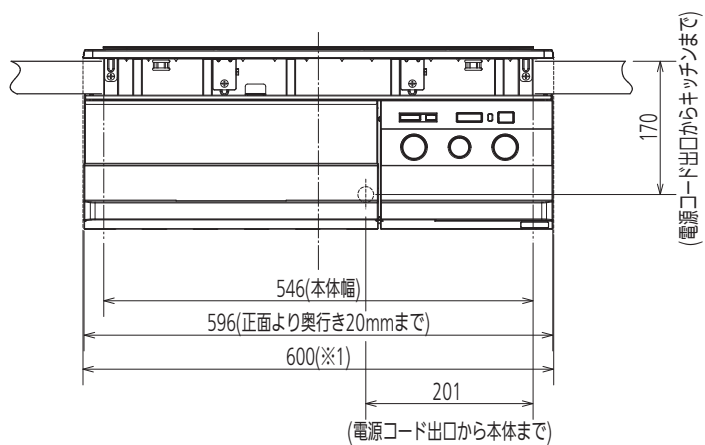


1 - 4. 外形寸法図 単位:mm

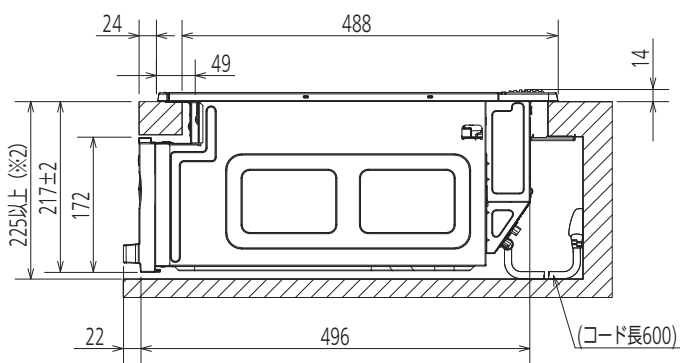
トッププレートの大きさにより下記のように表示
幅75cmタイプ／幅60cmタイプ



上面図



正面図



側面図

※1 据付けの際、前面より奥行き20mmまでは600mm幅の空間が必要です。

※2 本体底面をふさがないように225mm以上の高さが必要です。

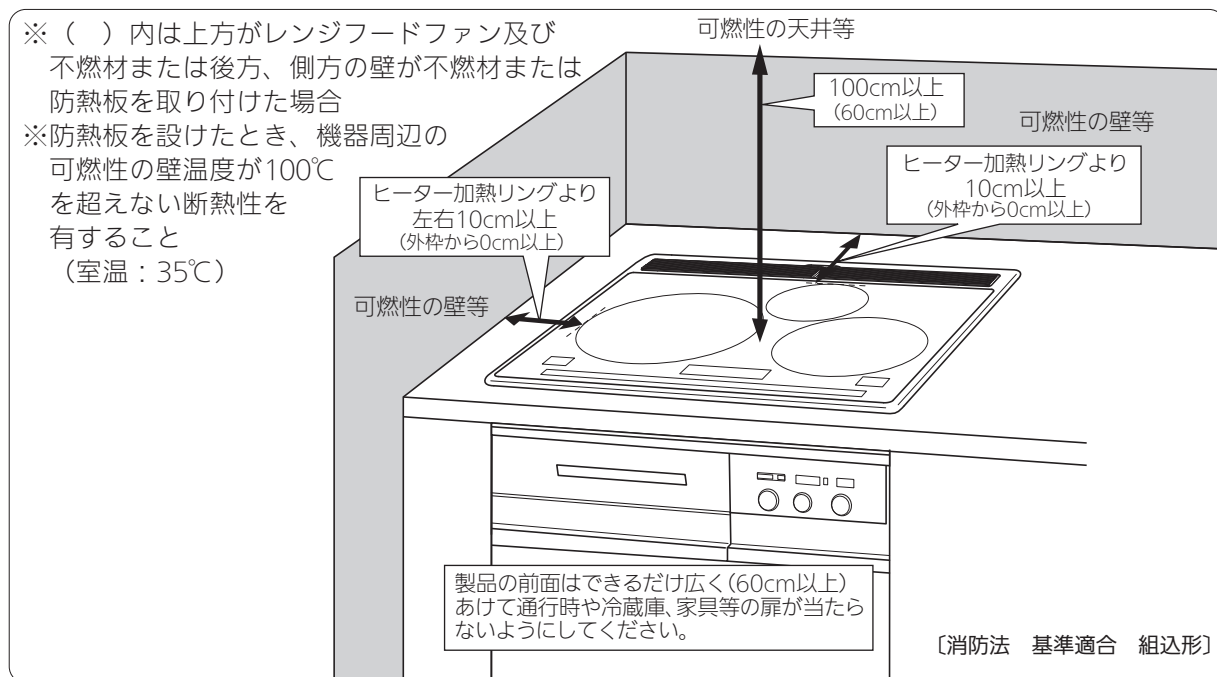
1 - 5. 設置場所の選定

本IHフッキングヒーターは、日本電機工業会自主基準で制定された『特定の安全性を備えた調理油過熱防止装置付電磁誘導加熱式調理器の設置に関する自主基準(HD-134)』において『特定安全IH調理器』として適合した製品です。

火災予防条例、電気設備技術基準に従って設置してください。

壁・天井等からの距離

■ 周囲が可燃性の壁の場合(防火構造壁以外)

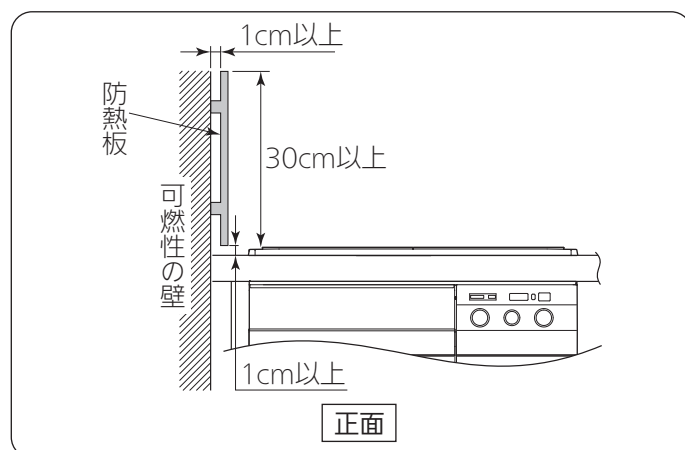
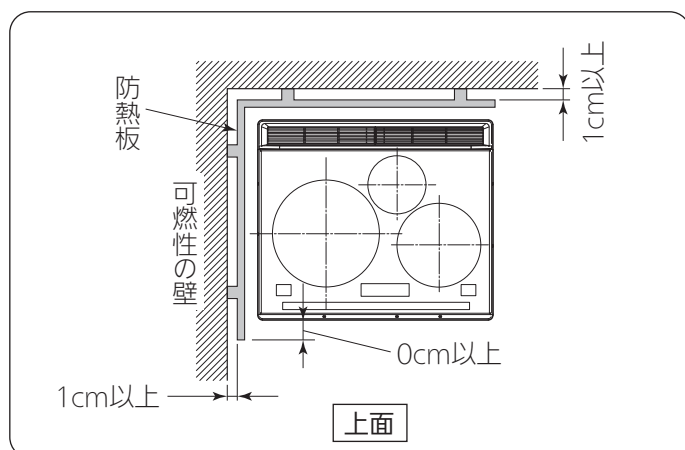


お願い

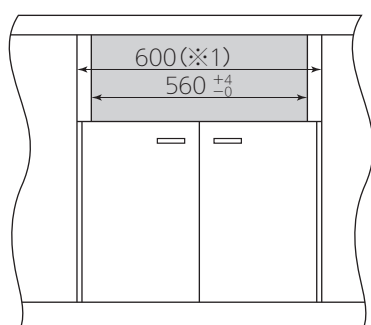
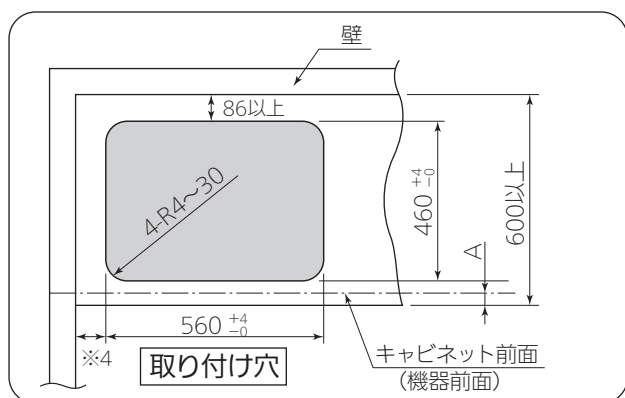
製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金具(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(電気設備技術基準で危害なきよう設置することが定められています。)

■ 可燃性の壁から、上記の距離を離して設置できない場合

● 防熱板を取り付ける



1 - 6. 設置制約 単位:mm



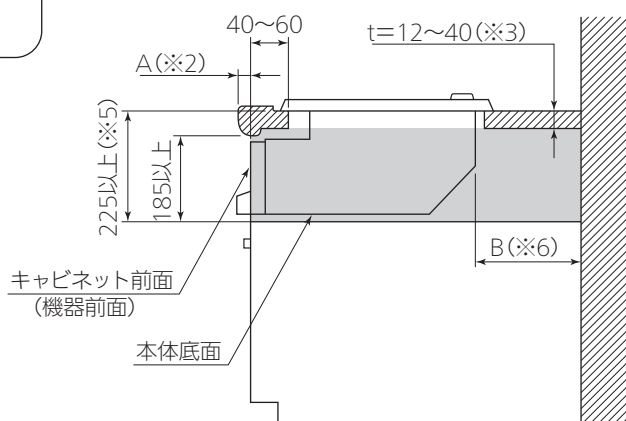
正面図

※4

トッププレート幅	750mm
可燃性壁	101mm以上
不燃性壁	101mm以上

トッププレート幅	600mm
可燃性壁	97mm以上
不燃性壁	26mm以上

部分への突起は不可

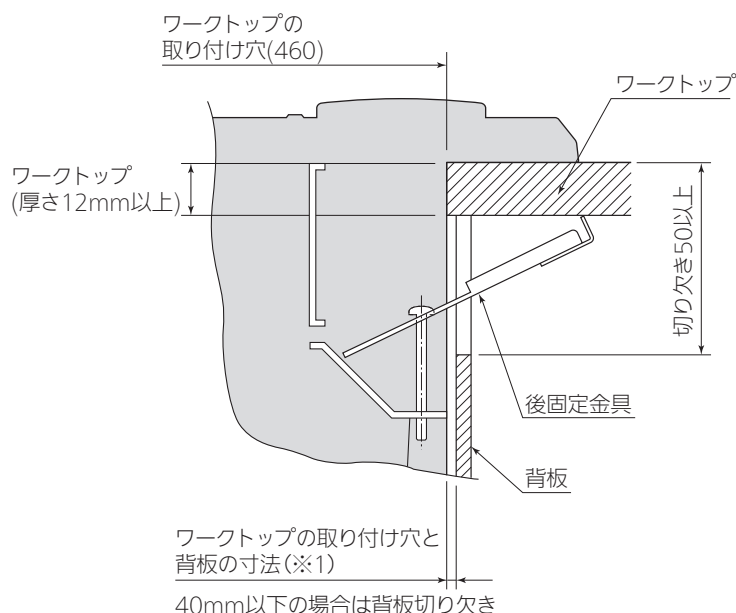


側面図

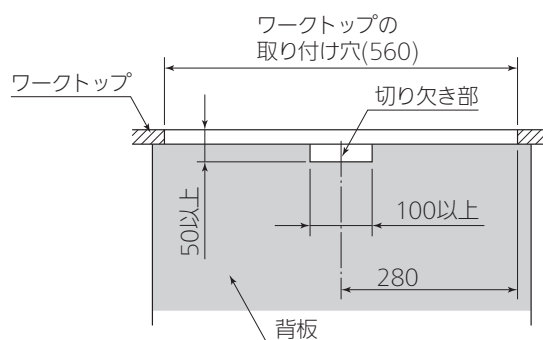
- ※1 据付けの際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。
- ※2 A寸法はワークトップ前面とキャビネット前面(機器前面)との差です。
- ※3 ワークトップの厚みが薄いと(12mm以下)、後固定金具が固定できません。
その場合は当て木を添えてください。 **11ページ** 手順4参照
- ※4 取り付け穴と壁の距離については上記図中参照ください。
- ※5 本体底面孔をふさがないように225mm以上の高さが必要です。
- ※6 B寸法は、ワークトップ取り付け穴と背板の寸法で80mm以上あればパナソニック製の露出コンセント(WK36301B)が使えます。

キャビネットの後方に背板がある場合

■ワークトップの取り付け穴と背板の寸法(※1)が40mm以下の場合、後固定金具が通るように背板に切り欠きを設けてください。



【正面断面図】



2 電気工事

警告



電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回路を使用する

指示に従う 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因

2 - 1. 専用回路と漏電しゃ断器の設置

■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

- 200V・30A以上の専用回路を設置する
- 電源は必ず「单相3線式 200V」を使用する
- 三相200V(動力電源)には絶対に接続しないでください。(故障の原因)
- 屋内配線用電線は、線径φ2.6mm以上のものを使ってください。

■漏電しゃ断器を必ず設置する

【推奨漏電しゃ断器】 定格電流30A、感度電流15mA

パナソニック製： BJS3022N(HBモジュール)

BSHE23022(コンパクトタイプ)

2 - 2. コンセントの設置

■電源コンセント……………单相定格250V・30A(一極接地用)

※推奨コンセント パナソニック製： WK36301B(露出型)

WK3630(露出型)

WF3630B(埋込型)

警告



分解禁止

絶対に分解・改造は行わない

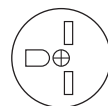
発火・異常動作してけがをするおそれがあり

※トッププレートを取り外さない

※電源コードの直付けはしない

※直付けは製品の改造となり、故障や損傷の場合、保証期間内でも有料修理になります。

コンセント差し込み形状



接地2P30A

■推奨コンセントの位置(例)

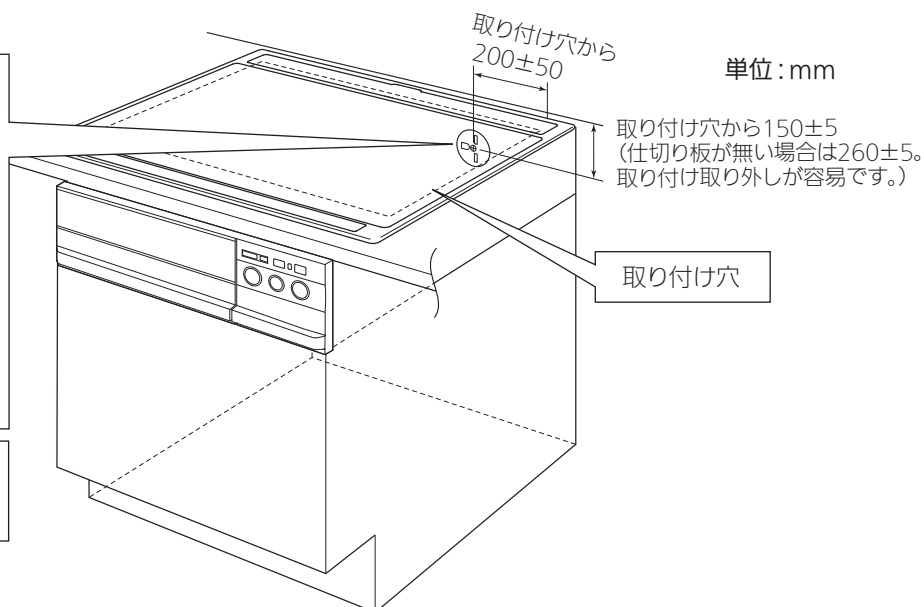
システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

【コンセントの向き】



※コンセントの向きに注意してください。
コードがキャビネットにあたります。

※本体底面に仕切り板がある場合は、背面に余裕のある場所に配置してください。



単位:mm

取り付け穴

※システムキッチンに設置する場合

システムキッチンに設置する場合は、システムキッチンに添付の取付・設置説明書に従い、十分な取付強度を確認の上、コンセントを取り付けてください。

3 据付け

3 - 1. 本体の据付け

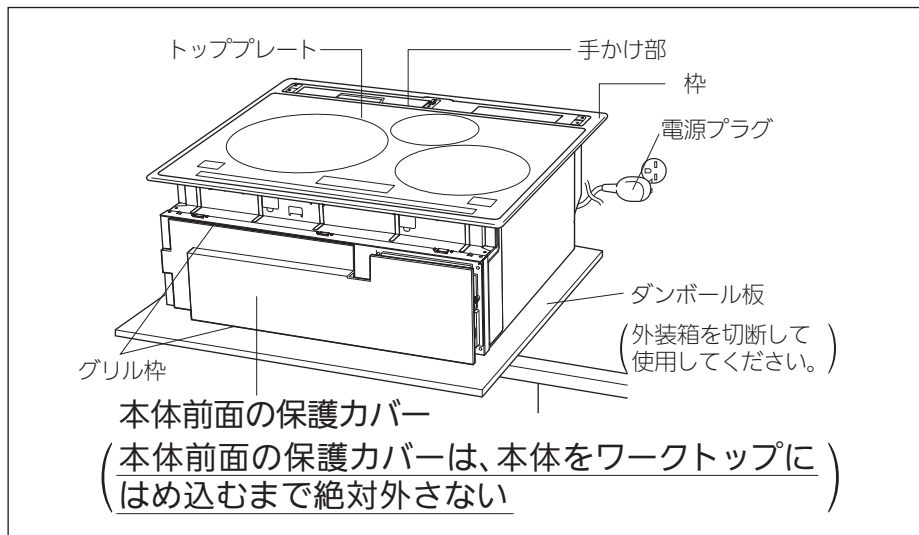
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓等)を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。
- 設置場所が常に水平で安定していることを必ず確認してください。

本体の据付け (ブレーカーを“切”にして据付けを行ってください)

1 電源プラグを差し込む

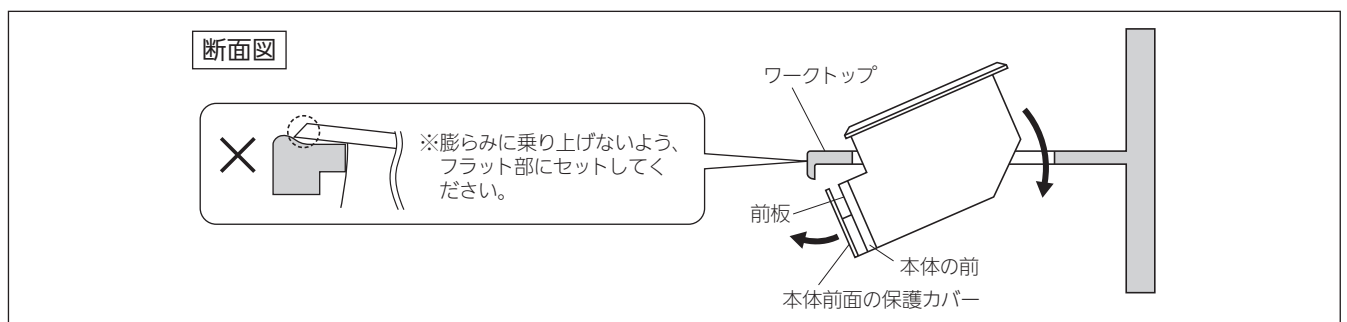
- 本体はトッププレートの枠や手かけ部を持ち、取り扱ってください。
- ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。
- 上下のグリル枠を变形させないように注意してください。

※トッププレートを外さないで設置します。



2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

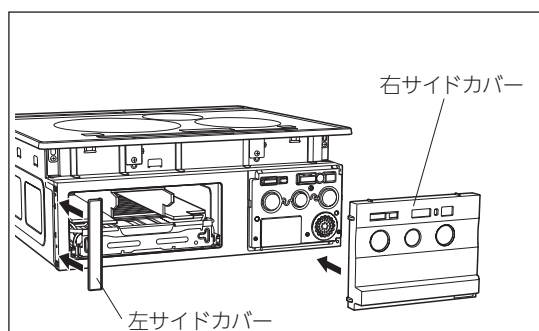
- はめ込み時は、前面部をワークトップに当てないでください。
- 本体前面の保護カバーは、本体をワークトップにはめ込むまで絶対外さない。
(ボタンの破損や前板に傷がつく原因)
- 前板とワークトップの隙間が、前後左右で均一であることを確認してください。
(本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、
本体が浮いて隙間が生じます。)



3 - 2. 付属部品の取り付け

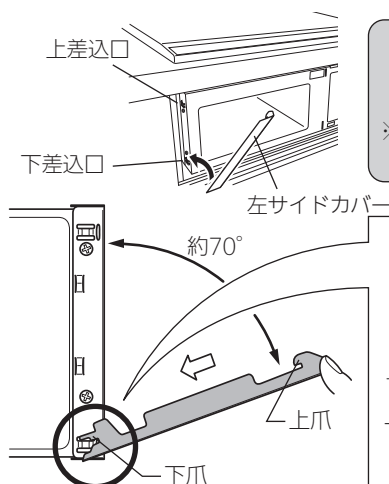
3 左右サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

- 本体前面の保護カバーを外す
- 前板側面の差し込み口に、サイドカバーを取り付ける
- サイドカバーとキャビネットの左右側面との隙間が均一になるように、本体の位置を調整する
キャビネットの前面(扉面)に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する



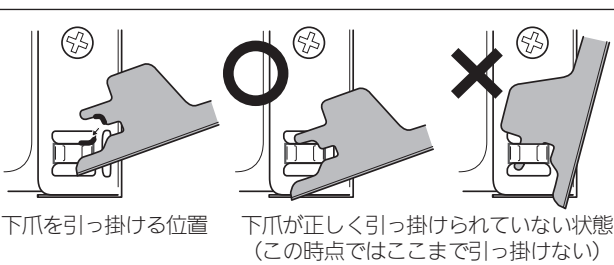
(1) 左サイドカバーの取り付け方

① 下爪を下差し込口に引っ掛ける

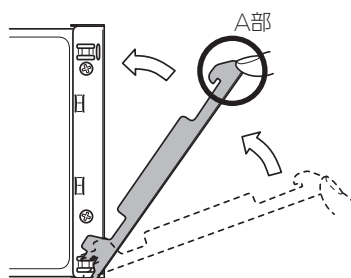


<取り付けのポイント>

- ・ 約70°で、下爪を下差し込口に引っ掛ける
 - ・ 下爪のコーナー部(下図太線部)を下差し込口のふちにさせる
- ※ 角度の無い状態で差し込口に差し込むと、上爪が上差し込口に引っ掛からなくなり、正しく取り付けできない原因になります。

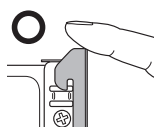


② 下爪を支点にしてA部を押しながら、左サイドカバーを回転して起こす

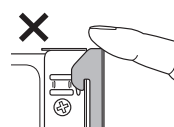


<取り付けのポイント>

- ・ 左サイドカバーを起こした際、スムーズに起こせない(上爪が上差し込口に当たる)場合は、下爪が正しく引っ掛けられていないため、再度1の作業を行う

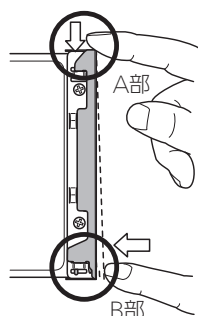


正しく下爪が差し込まれている場合、上爪はこの時点では上差し込口に当たらない



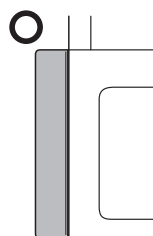
上爪が上差し込口に当たっている状態

③ B部を押して下爪を下差し込口に合わせてから、A部を押し込む

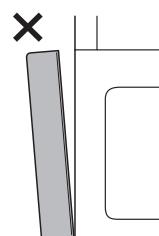


<取り付けのポイント>

- ・ A部を軽く本体側へ指で押さえた状態で、B部を矢印の方向へ押して下爪を下差し込口に合わせた後、A部を下へ押し込む
- ※ A部を押さないと、上爪が上差し込口に引っ掛からず、正しく取り付けできない原因になります。

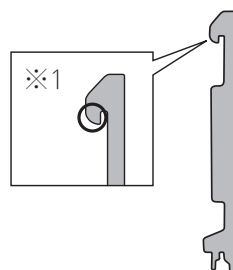


正しく取り付けられた状態



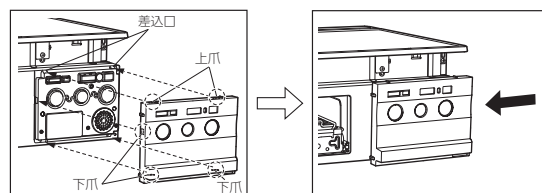
上爪が正しく取り付けられていない状態

※1: 入れづらい時は本体側に少し爪を曲げると入れやすくなりますので調整をしてください。



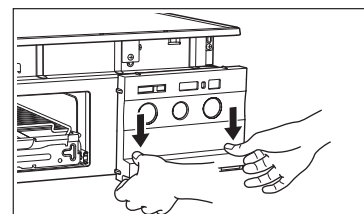
(2) 右サイドカバーの取り付け方

右サイドカバーの上爪を差込口に引っ掛けたあと、下爪を差込口に引っ掛けて、カチッと音がするまで押し込む
※火力ダイヤルは、押し込んだ状態で取り付けてください。
押し出した状態で取り付けると、ダイヤルに傷が付くことがあります。



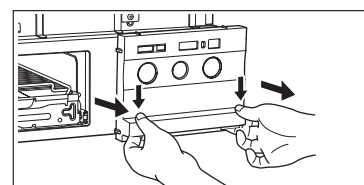
■右サイドカバーの取り外し方

- ①グリル扉と上ルーバーを取り外す
- ②右サイドカバーの取っ手を下方方向に押す



- ③取っ手を下方方向に押しながら下部に指を引っ掛けて、手前に引っ張りながら取り外す

※下爪が外れた状態で、手前に引っ張らないでください。
サイドカバーが破損することがあります。



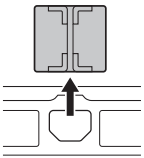
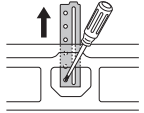
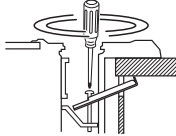
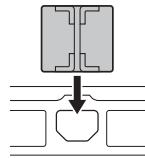
(3) 本体の位置調整

- ①左右サイドカバーとキャビネットの左右側面との隙間が均一になるように、本体の位置を調整する
- ②キャビネットの前面(扉面)に本体の上ルーバー面が合うように本体の位置を調整する

3 - 3. 本体とキッチンの固定

4 後固定金具を固定する

●後固定金具でワークトップに本体を固定する

1. 排気カバー受けを取り外す 	2. 後固定金具のネジをいったんゆるめ、ドライバーの先端を後固定金具の穴に差し込み矢印方向へ通す 	3. ネジを確実に締めつけ固定する(締めつけトルクは0.4Nmとする) 	4. 排気カバー受けを取り付ける 
--	---	---	---

後固定金具位置

ワークトップの厚みが薄くて、後固定金具が固定できない場合は、図のように当て木を添えてください。

両面テープ 当て木 12~40mm 後固定金具

※フレーム天面から排気カバー受けが飛びだしていないことを確認する

排気カバー受け取り付け最初に後ろ側を引掛け円弧運動を行ない取り付ける

3 - 4. 同梱品の取り付け

5 上ルーバー、排気カバー、グリル扉、グリルあみを取り付ける

- グリル庫内の包装材料と、グリルあみを取り除く
- グリル枠上の差し込み口に上ルーバーを取り付ける
- 排気カバーを取り付ける
- グリル扉を取り付ける
- グリルあみを取り付ける

ツメ(左右2カ所)に差し込む

①扉の上を少し奥(本体)側に傾けながら、左右のツメに扉の凹部を差し込む

「カチッ」と音がするまで押し込む

②扉の上を少し手前に傾けながら、金具を固定する

上ルーバー

差し込み口

排気カバー

下にツメ

上ルーバーをセットして、確実に固定されていることを確認してください。ゆるいときはツメを上方に少し曲げるだけで、固くなりますので調整してください。

3 - 5. 据付け後の確認

- 据付け高さによりキャビネットとの間に隙間ができる場合に、別売部品の隙間かくし上ルーバー／隙間かくし下ルーバーの取り付けが必要です。

※ 詳細は各別売部品添付の取付要領図をご覧ください。

- 据付けが完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

確 認 項 目		チェック
梱包材の取り外し	トッププレート上、グリル内部等、本体前面の保護カバー	
同梱品の取り付け	排気カバー、グリル扉、グリルあみ、受け皿、サイドカバー、上ルーバー	
外 観	トッププレート部のフレームに浮きがないか？	
	本体前面操作部に傷が付いていないか？	
電 気 工 事	アース接地工事（D種）が行われているか？	
	漏電ブレーカーが設置されているか？	

4 試運転

4 - 1. 試運転手順

- お客様立ち会で試運転を行ってください。
据付け完了後、次の手順で内容を確認し、チェック欄に○印をしてください。

確 認 項 目			チェック
1 正しく単相200V配線がされているか？ (1) ブレーカーを「入」にする (2) テスターで測定する ①電極間AC200V ②アース／電極間AC100V (3) 測定が終わったら、一度ブレーカーを「切」にする (4) 電源プラグを接続する			
2 ブレーカーを「入」にする			
3 電源ボタンを押し、「入」にする	➡	電源ランプと中央液晶が点灯する	
4 各ヒーターの動作確認をする (お湯を沸かして確認) (1) IHヒーターの上に、水を入れた鍋を置く		・当社専用天ぷら鍋を使い動作確認を行ったときは必ずよくふいてください。 ・当社専用天ぷら鍋に水を入れて、揚げ物動作をしないでください。 エラー:U4がでます。	
(2) 火力ダイヤルを押し出す	➡	火力ランプが青く点灯する	
(3) 火力ダイヤルを回す			
(4) さらに火力ダイヤルを回す	➡	火力ランプが赤く点灯し、鍋が加熱されお湯が沸く	
※鍋を置かないで操作をすると、「鍋なし自動停止機能」が働き、火力ランプが点滅します。 (約1分後に自動的に通電が切れる)			
5 グリルの動作確認をする			
(1) のどちらかを押し			
(2) を押し	➡	約1分後に庫内が温まってくる	
(3) グリル動作中(扉を閉めた状態で「グリル照明」ボタンを押す	➡	押している間、庫内ランプが点灯する	
6 電源ボタンを押し、「切」にする		➡	電源ランプと中央液晶が消える ※トッププレートやグリル扉が熱い間は高温注意ランプは消えません。

- 据付け時に電気工事が完了していない場合は、引渡し時に必ず試運転を行ってください。

■レンジフード(換気扇)連動システム対応型を設置した場合は、レンジフードと連動することの確認が必要です。

1換気扇 (1)いずれかの火力ダイヤルを押し出す (2)火力ダイヤルを回し、火力ランプ1〜8を青点灯させる	➡	(1)  を押し、「換気扇」を選ぶ。 (2)設定する(設定したい項目へ進んでください) 風量を変えるとき  を押して切り替える 押すごとに切り替わります。 [例]  停止するとき  を押す	
(3)すべての火力ダイヤルを押し込む	➡	換気扇が一定時間作動した後、停止する(換気扇設定による)	
2換気扇の照明 (1)  を押し、「換気扇」を選ぶ。 (2)設定する(設定したい項目へ進んでください) 照明を切/入するとき  のどちらかを押す	➡	換気扇の照明が点灯する(もう一度押して消灯)※1	

※1 換気扇の照明は電源ボタンを「切」にしても消えません。

●試運転後は、必ず電源ボタンを「切」にしてください。

●レンジフード(換気扇)によっては、レンジフードのリモコン設定が必要となりますのでレンジフードの説明書もご確認ください。

据付完了
確認者印

4 - 2. レンジフード(換気扇)の連動設定手順

1



をピッと鳴るまで押し、
電源を入れる

※電源を入れてから、約1分以内に手順 **2** の設定をはじめてください。

2



を押し、「換気扇」を選ぶ

3



を約3秒長押しする

4



のどちらかを押して
設定したい「モード」を選ぶ

モード1：すべてのヒーターを停止すると、換気扇が一定時間後に自動で停止する(換気扇によって異なります)

モード2：すべてのヒーターを停止すると、換気扇が停止する

モード3：操作と連動しない

●工場出荷時は、モード1に設定されています。

5



を押す(設定完了)

※  を押さないと、設定は変更されません。

■設定が終わったら



を押して、電源を切る

4 - 3. 総消費電力の切り替え手順

総消費電力（5800W、4800W、4000W）を切り替えます。（工場出荷時は5800Wに設定されています）

1

電源 2秒押し
切/入 (オートオフ)

をピッと鳴るまで押し、
電源を入れる

2

機能

を押し、

グリルメニュー
▽ □ ▲

のどちらかを押して
「ピークカット」を選ぶ

スタート表示
ピークカット
HEMS

4,800W
5,800W

▽ 戻る / ▲ 進む

3

時間
▽ □ ▲

のどちらかを押して
設定する

スタート表示
ピークカット
HEMS

4,000W
4,800W
5,800W

▲ 電力が上がる
▽ 電力が下がる

4

グリル
スタート/停止 (1秒押し)

を押す (設定完了)

※

グリル
スタート/停止 (1秒押し)

を押さないと、設定は変更されません。

[例] 4800Wに設定したとき

ピークカット

電源が入っています

突沸注意 加熱前にかき混ぜてください

■ 設定が終わったら

電源 2秒押し
切/入 (オートオフ)

を押して、電源を切る

HEMS 通信をする場合は、別売の無線 LAN アダプターユニットが必要（有料）となります。
据付け・接続は、お買い上げの販売店にご相談ください。

別 売 部 品	
名称	無線 LAN アダプターユニット
形名	HM-02A-CS
形名コード	46Y002

4 - 4. お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付説明書は、据付け後お客様にお渡しください。なお（同梱の）取扱説明書および保証書も必ずお客様にお渡しください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー、ゼネコン）や管理人などに説明してください。

据付け前に

電気工事

据付け

試運転

据付年月日	年 月 日
据付店名	
	TEL

お客様へ……おぼえのために、据付年月日、据付店名を記入されると便利です。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1